

ぎふ感染症かわら版

平成 30 年 1 月 25 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



犬や猫からうつる感染症に気をつけましょう！

犬や猫からうつるコリネバクテリウム・ウルセランス感染症により
国内で 2016 年に死亡した人がいたことが、先日わかりました。

犬や猫から人にうつる感染症は、動物との接し方に気をつけることで、防ぐことができます。

動物からの感染を防ぐポイント

過剰なふれあいは控えましょう

…口移しで食事を与えることや、動物と同じスプーンや箸を使うことはやめましょう

動物に触った後は手を洗いましょう

動物の身の回りは清潔にしましょう

…ブラッシングや爪切りなどこまめに手入れをし、
寝床やトイレは清潔に保ちましょう（猫は室内で飼いましょう）

飼っている動物の体調が悪い時は、早めに動物病院でみてもらいましょう



コリネバクテリウム・ウルセランス感染症

コリネバクテリウム・ウルセランスという細菌が起こす感染症です。

人の他、犬、猫、牛など様々な動物にも感染します。

最近では、この菌に感染した犬や猫から人への感染が、国内外で確認されています。

人の症状

初めは鼻汁などの風邪に似た症状で、その後、**のどの痛み**や咳が出ます。

のどに偽膜と呼ばれる白い膜ができることがあり、

呼吸困難など重い症状を起こすこともあります。

この他、リンパ節が腫れたり、皮膚に症状を起こすこともあります。

感染経路

主に、**感染した犬や猫と近くで接する**ことで感染します。

動物がこの菌に感染すると、

くしゃみや鼻汁など風邪に似た症状や皮膚病を起こすことがあり、

くしゃみのしぶきを吸い込んだりすることで人に感染します。



予防

犬や猫とふれあった後は**手洗い**をしましょう。

風邪や皮膚炎の症状のある犬や猫とはとくに、過剰なふれあいは控え、手袋やマスクを着けて接するようにしましょう。

犬や猫の体調が悪い時は、早めに動物病院でみてもらいましょう。

次のページもご覧ください

ほかにもこんな感染症があります



パストツレラ症

パストツレラ属菌という細菌による感染症です。

健康な犬の約 75%、猫のほぼ 100%が口の中にこの菌を持っています。

高齢者、乳幼児、糖尿病や免疫不全の患者など、**抵抗力の弱い人が主に発症**します。

人の症状

感染してから 30 分～2 日で、**皮膚症状、呼吸器症状**があらわれます。
皮膚症状では、咬まれたりひっかかれたりした後、激痛や腫れを起こし、皮膚の深いところで重い炎症を起こすことがあります。

呼吸器症状では、軽いかぜのような症状から重い肺炎までみられます。

感染経路

犬や猫に咬まれたりひっかかれたりした傷から**感染**します。
また、**口移しで食事を与える**ことなどにより口から感染します。



予 防

高齢者や持病のある方は、犬や猫との**過剰なふれあい**は控えましょう。

トキソプラズマ症

トキソプラズマ原虫という微生物が原因で、多くの哺乳動物や鳥類が感染します。
猫が感染するとふんに原虫が排せつされて人への感染源となります。

人の症状

健康な人が感染しても、多くは無症状で経過します。
免疫不全の状態にある人は、脳炎などの重い症状となることがあります。
また、**妊娠中に感染**すると、まれに**胎児に感染**し、**死産・流産**のほか、**知的障害、視力障害、脳性まひ**など、重い症状を起こすことがあります。

感染経路

猫のふんに排せつされた原虫を口から取り込むことで感染します。
また、**感染した動物の肉を生で食べる**ことで感染することがあります。

予 防

猫のふんはすみやかに処理しましょう。また、**食肉の生食は避け**ましょう。

- ★ 猫が原虫を排せつするのは、猫が初めて感染してから約 2 週間以内の限られた期間です。
また、排せつされた原虫が人への感染力をもつには 24 時間以上かかるため、
ふんをすみやかに処理することで猫からの感染を防ぐことができます。



動物と適切に接することで感染を防ぐことができます。
動物と一緒に、健康で豊かな生活を送りましょう！



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

